

# 農作業体験支援及び地元食材を活用した出前講座による食育活動

地産地消くしろネットワーク

## 1 取組の目的

野菜の栽培体験や地元の生産者との交流、さらには、地元食材を活用した出前講座を通じて、子どもたちに地域の農業や食品への関心、地産地消への理解等を深めてもらう。

## 2 取組の内容

### (1) 「まなぼっと子ども体験隊」の支援

#### ア 目的

財団法人釧路市民文化振興財団と連携し、まなぼっと子ども体験隊が行う農作業体験を支援し、地産地消・地域産業への理解を深めた。

#### イ 内容

6月から9月の期間、市内の小学4～6年生の約20人が、にんじん、じゃがいもの種植え・草むしり・収穫などの農作業体験を行った。また、地元の地域材を利用した班ごとの看板制作も実施した。子どもたちからは、「スーパーに並んでいる野菜よりおいしい！草取りは大変だったけど、思ったより楽しかった」との感想が寄せられた。



【地元カラマツ材を使った畑の看板作り】



【収穫の様子】

### (2) 「出前講座」の実施

#### ア 目的

市内の小中学校に対し、釧路の地場産品や産業についての講座を行い、地産地消・地域産業への理解を深めた。

#### イ 内容

地元のエゾシカ肉を使ったミートソーススパゲッティを児童が調理し、試食した。また、エゾシカについての講義も行い、エゾシカの生態や食害、栄養面について総合的に理解を深めた。



【エゾシカ出前講座】  
(エゾシカについてのお話し)



【エゾシカ出前講座】  
(エゾシカミートソース作り)

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- ・「まなぼつと子ども体験隊」の支援については、実際に子どもたちが農作業を行うことにより、収穫までの作業の多さや収穫した際の喜びを体験できた。
- ・漁業の町としてのイメージが強い釧路でも、野菜を生産している農家がいること、また、冷涼の気候等から作られる野菜がおいしく、安全安心であること、農業が地域の大きな産業の一つであることを理解してもらえた。
- ・「出前講座」の実施については、エゾシカをテーマに設定し、釧路市でエゾシカによる農林業被害額が増えていること、また、エゾシカ肉は栄養に優れた美味しい地域資源だということを理解してもらえた。
- ・実際に調理し、食べることで「エゾシカ肉は美味しくない」というイメージを払しょくすることができ、食べることで森や湿原を守っていくことにつながるということについて理解を深めることができた。

#### (2) 課題

- ・農作業体験については、理想的には、野菜生産者と触れ合う場面があったほうがよいと思う。しかしながら、釧路地域の野菜生産者は、人数が少ない上、収穫時期は人手が足りずパートを雇っている状況であり、繁忙期に参加してもらうのは難しいという現状もある。
- ・出前講座については、エゾシカについての基本的な授業や調理実習のほかに、増え続けるエゾシカによる農林業被害の現場を視察したり、被害防止策の体験をしたりする機会が持てれば理解が一層深まると思われる。